**工業経営研究学会第37回全国大会のお知らせ**

皆様ご承知の通り、コロナ禍の影響で人と人が一堂に会する機会が大きく損なわれたまま、丸2年が過ぎております。工業経営研究学会全国大会も従来のような大会開催ができず、2020年の北海学園大学大会はWEB上オフライン形式での開催、2021年の大阪市立大学大会はZoom利用によるオンライン形式での開催となりました。

2022年度は私共、千葉商科大学を大会校とすることが昨年度の理事会において決定されております。当初はコロナ禍が落ち着きを見せていたこともあり、数年ぶりのリアル対面開催の可能性もあることで検討してきましたが、残念ながらいまだ予断を許さない状況であることから第37回全国大会もZoomによるオンライン形式で実施する運びとなりました。会員の皆様方よりリアル対面開催への期待もあるなかで誠に恐れ入りますが、ご理解いただけますよう、よろしくお願い申し上げます。

さて、今期の第12期理事会が掲げる3年間の統一テーマですが、大平義隆会長により「ガバナンスとモノづくり」と設定されております。この3年間の統一テーマをふまえ、理事会ならびに実行委員会で検討を行い、第37回大会統一論題のテーマを「不確実性が高まる中でのガバナンスとモノづくり」と決定いたしました。

現在、数年前には予想もしなかったコロナ禍、ウクライナ危機という現在進行形で不確実な経営環境の変化に直面しています。また、脱炭素、SDGsなど新しい価値観も急速に普及しています。こうした不確実性が高まるなかで生じるリスクに対し頑健性の高い工業経営を行っていくために企業に求められる行動はどのようなものでしょうか。本大会では、上記の統一テーマを設定し、今日的な不確実性の中で求められる持続可能な工業経営の未来像について議論していければと考えます。

また、オンライン開催という特徴を生かす形で、全国大会初の試みとして、「オンライン工場見学」を実施いたしたいと考えております。初めての試みですが、ご協力いただける企業様にお力添えいただきながら、準備しております。

それでは、オンライン上ではありますが、会員の皆様とお会いして、議論できることを願っております。たくさんの会員の皆様のご参加を心よりお待ちしております。どうぞよろしくお願いします。

実行委員長　池田武俊（千葉商科大学サービス創造学部）

**■大会日程**　2022年9月8日(木曜日)から9日(金曜日)

　**時間割（予定）**

9月8日（木曜日）理事会、開会式、自由論題、会員総会

9月9日（金曜日）研究分科会、オンライン工場見学（基調講演を含む）、統一論題、理事会

＊プログラムの配当日は、報告者数などにより、大会日程の1日目か2日目かの配当日が変わる可能性があります

**■大会会場**千葉商科大学国府台キャンパス

ただし、すべてのプログラムをZoomにてオンライン開催。

必要なZoom設定については、後日ご連絡申し上げます。

**■統一論題**　「不確実性が高まる中でのガバナンスとモノづくり」